



## 開発力で打ち勝つための人的交流や 仲間作りの重要性

頼 明照\*

2005年のエレクトロニクス業界は薄形テレビ・DVDレコーダ・デジタルカメラなどのデジタル家電製品の急激な価格下落に伴う競争が激化し、真の開発力を有する企業のみが生き残るといった厳しい時代へと変化し始めております。このような時代の中で企業（技術者）が開発力で打ち勝つためには、常に情報感度を高めて質のいい情報を入手することが必要不可欠です。昨今はインターネットの普及により誰もが手軽に情報を入手することが可能になりました。しかしながら、本当に質のいい情報を入手するには、できるだけ自分自身の足を使って直接情報を取りに行き、フェイス・トゥ・フェイスで話をするのが基本だと思います。そのためには、本音で語り合える人的ネットワークをどれだけたくさん作れるかが重要です。それでは、どのようにしてそういった質のいい情報の収集や人的ネットワークの構築を行えば良いのでしょうか。私はそういう時にこそエレクトロニクス実装学会を利用してはどうかと考えております。

エレクトロニクス実装学会では、1年前に関西支部を立ち上げました。縁あって支部運営のお手伝いをさせていただいている小生としては、経済面での地盤沈下の久しい関西地域の活性化に少しでもお役に立てればとの思いで活動を行っております。関西支部規約によれば、本支部は「エレクトロニクス実装技術および実装産業の地域振興を図り、会員相互の親睦、学会の発展に寄与する」ことを目的としています。とりわけ、規約にある「会員相互の親睦」という文言の通り、これまでに支部が主催した企画においてはすべて交流会を実施してきました。学会に参加される方々からすれば、自分の業務に関わる技術についての情報や知見を得ることが第一の目的であることは当然であります。それだけで終わってしまってもあまりにも勿体ないと思います。同じ業界で同じ技術に関心のある方々が一同に集まる機会は、それほど多くはありません。そのような貴重な場でお互いに顔見知りになり情報交換し合えることができれば、それが仕事を進めて行く上での大きな財産になることは間違いないでしょう。

関西支部主催の企画においては「会員相互の親睦」に重点を置き、できる限りこのような参加者同士が交流を持って、本音で語り合える仲間作りの場を提供して行きたいと考えております。学会員の皆さま方におかれましては、質の良い情報収集や人的ネットワーク構築のきっかけ作りとして、是非ともエレクトロニクス実装学会を利用していただければ幸いです。今後とも学会活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。